

✈ 海外生活 だより

シドニー事務所

シドニーの通勤風景

(財)自治体国際化協会シドニー事務所所長補佐
奥野 公彦 (和歌山県和歌山市派遣)

早朝のシドニー

「シドニーの朝は早い」と聞いていたので、早朝の街の様子を見てみたくて朝6時半過ぎの街中を歩いてみました。なんと、こんなに早いのに結構な人が歩いているのです。早く出勤して仕事をする人や、早朝からフィットネスクラブに通う人など早起きして活動を始めているのです。職場の近くのウィンヤード駅にバス・電車の切符売り場があり、定期券を購入するのに何時から窓口が開いているか聞いてみると、「朝の5時半からやっているよ。シドニーの人は早起きだよ」と改札にいた駅員さんが笑顔で答えてくれました。

交通手段

シドニーの交通機関には、シティーレール、シドニー・バス、シドニー・フェリー、モノレール、ライト・レールなどがあります。

シティーレールは、日本の通勤電車と異なりダブル・デッカーと呼ばれる2階建ての車両が走っており、一度に多くの人を運びます。

シドニー・バスは、シドニー市内や近郊を300以上の路線で幹線道路だけでなく住宅街の中も網の目のように走っていて、身近な交通手段として利用されています。

また、フェリーも通勤に利用されていて、電車、バスとの乗り継ぎも便利です。シドニー都市圏全般をカバーする公共交通機関が1日乗り放題のMy Multiというパスもあります。

バス通勤

私は、シドニー市の中心から北にバスで約15分、

距離にして約6kmのところに住んでいますが、バスの通勤は、いろんな人間模様があり、なかなか面白いのです。バスの中ではオーストラリアならではの多文化を感じることができます。例えば、車内での会話や携帯電話で話している言語がさまざま、英語、中国語、韓国語、スペイン語、日本語、等々、多様な言語が聞こえてきます。

運転手も実にいろいろな人がおり、結構年配の人や女性もバリバリ働いています。音楽を鳴らして口遊みながら運転するドライバーやお年寄りや子ども連れの乗客のために身障者用の席に座る若い元気な人たちに大きな声で「席を空けなさい」とビシッと言うドライバー、中には、酔っ払った乗客が大声を出した途端にバスを止めてこの乗客の腕を引っ張りバスから降ろすドライバーなどさまざまです。

コーヒーを片手に出勤

朝の通勤風景の一つとして、カフェがあります。街中のいたるところにカフェのお店があり、朝は通勤途中にコーヒーを買って片手に持ちながら職場に向かう人が結構いるのです。私も、毎朝、コーヒーを片手に通勤しています。

よく行くカフェの店員は、一度来たお客様の顔とオーダーを一度だけで覚える得意技を持っ



いつも笑顔のカフェの店員

ています。私が初めてこの店に行った時、「フラットホワイトのレギュラーサイズでノンシュガー」と注文し

たのですが、それを覚えていたこの店の店員に、私が3週間ほど経ってから訪れた時、「フラットホワイトのレギュラーサイズでノンシュガーだよね」と逆に聞かれたのです。確かに、以前に注文した内容だったのです。ただ、フラットホワイトよりカプチーノの方がおいしいことを知り、「カプチーノにして」と言ったら、次からは注文を毎回言わなくてもカプチーノでオーダーを通してくれるようになり、今では、ちょっとした私の行き付けのお店なのです。

人気のカフェでは、毎朝長い行列ができており、これも通勤風景の一つになっています。

徒歩通勤

健康のため、時間がある時は歩いて通勤するようにしているのですが、これがプチ贅沢通勤で楽しいのです。というのも、私の家から職場までは必ずシドニー

の名所の一つのハーバーブリッジを渡るのですが、ブリッジからシドニー中心街の摩天楼を遠



ハーバーブリッジからの景色

くから一望し、橋の眼下にはオペラハウス、このような景色を眺めながら歩いて出勤するのは実に楽しくて、私のプチ贅沢なのです。

ブリッジを渡っていると、ビジネススーツを片手に持ちながらマイペースで歩いて出勤する人、ジョギングスタイルにリュックを背負って歩きながら出勤している人、トレーニングしている人など、最高の



ハーバーブリッジを歩いて出勤

景色の中、それぞれのスタイルでブリッジを渡っているのです。市内中心部に向かってブリッジの一番左側が歩道、その次が車道、そして電車、橋の一番右側が自転車専用道路となっているのです。車道の中にバス専用レーンがあり、バスと

タクシーのための専用レーンとなっているのですが、特に朝の8時から8時半頃は、通勤の時間帯の中でも通勤車両がピーク



ハーバーブリッジを通る車両風景

になり、時にはこの時間帯に一般車両よりもバス専用レーンのバスやタクシーの長い列の渋滞ができていたり、何のためのバス専用レーンなのだろうと思うこともしばしばあります。しかし、それだけ通勤の時間帯に多くのバスが通っていて、住民の通勤の大事な手段となっているのです。

レイトナイト・ショッピング

シドニーでは、木曜日と金曜日の夜は普段とは異なり、かなりにぎやかになります。というのも、平日の木曜日以外は、レストラン、パブ以外の店はほとんど6時頃には閉めてしまうのです。みんなが働いている時間に店を開け、みんなが帰る時間に店を閉めてしまいます。しかし、木曜日だけは、夜の8時、9時まで開けているお店が多いので、仕事の帰りにショッピングを楽しむ人がたくさんおり、月曜日から水曜日の平穏な雰囲気とは随分と様変わりします。もちろん、金曜日の夜は、休み前の夜なのでにぎやかですが、シドニーでは、木曜日と金曜日の2日続けて週末気分になります。なぜ平日の木曜日に遅くまで店が開いているのか現地の人に聞いたところ、昔、シドニーでは、毎週または隔週の木曜日が給料日と法律で定められており、給料日に買い物や食事をするのが多かったため、この習慣が今日でもレイトナイト・ショッピングとして残っているのだそうです。

おわりに

シドニーでは、通勤をテーマに見るだけでもいろいろなおもしろいことが見えてきました。通勤の1コマだけでなく、私のシドニーでの生活のいろいろな場面で、1コマ1コマを楽しみたいと思っています。